

13名の議員が市政を問う

12月4日、7日、8日の3日にわたり行われた一般質問には13名の議員が登壇し、観光事業、学校給食共同調理場、図書館についてなど23項目にわたり、執行部と活発な論戦を展開しました。

議会だよりでは、紙面の都合上、質問と答弁を要約して掲載しておりますので、臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしております。

なお、車いす用のスペースも設けていますので、車いすをご使用の方もお気軽にお越しください。

一般質問

● 宮成昭義 (7ページ)

- ・ 廃作後の畑地利用は
- ・ 大原三重ノ原線の歩道設置のめどは

● 赤峰映洋 (8ページ)

- ・ 学校図書に新聞を
- ・ 振興協議会の今後は

● 高山豊吉 (9ページ)

- ・ 図書館の今後は

● 神志那文寛 (10ページ)

- ・ 学校給食の調理業務は、民間委託ではなく、市直営で

● 衛藤竜哉 (11ページ)

- ・ 市の宣伝PRに必要なものを提供しては
- ・ DCキャンペーンの総括とその先は

● 小野勇治 (12ページ)

- ・ 解散した観光協会の運営と市の責任は

● 川野優治 (13ページ)

- ・ 三重原周辺の悪臭に対し法的規制を考えては
- ・ なぜ、大原総合公園の都市計画区域を変更するのか

● 小野泰秀 (14ページ)

- ・ マイナンバー制度の実施について

● 朝倉秀康 (15ページ)

- ・ どうなった道の駅の工事は
- ・ まぼろしの蝙蝠滝って

● 衛藤正宏 (16ページ)

- ・ まちの将来像は
- ・ 有害鳥獣対策は万全か

● 渡辺一文 (17ページ)

- ・ もっと基金を活用しては
- ・ 小富士山中川公墓所の整備は

● 生野照雄 (18ページ)

- ・ 日本一のおんせん県の仲間入りを
- ・ どうする消防団の再編

● 内田俊和 (19ページ)

- ・ 豊後大野市の観光事業は大丈夫か
- ・ 学校給食共同調理場調理業務の外部委託について

※ 一般質問＝議員個人が市の行財政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対して行う質問。一般質問は各定例会で行われ、本市議会の場合、質問時間は答弁も含め1人60分以内の一問一答方式で行っている。



みや なり あき よし
宮 成 昭 義

市民クラブ

廃作後の畑地利用は

～ 遊休農地が増加 ～

質

葉たばこ廃作奨励が
なされ4年余り、廃作
地における土地利用の
現状は。

答
市長

葉たばこ廃作奨励実
施で耕作者、栽培面積
が大きく減少し、耕作
者は98名が24名、耕作
面積は197ヘクタール
から57ヘクタールと
減少しました。

廃作者支援で、他品
目への転換を円滑に進
め、転換品目は市の戦
略・重点品目を中心に
推進を図り、廃作後



遊休農地

の主な転換品目では、
ピーマン、かんしょ、
里いもが、面積比で
40%を占める状況でし
た。

戦略品目は栽培面積、
販売額ともに増加して
いますが、畑地全体の
土地利用の現状は遊休
農地の拡大が顕著です。

今後、産地収益力の
向上のため、担い手対
策では新規就農者の確
保などにより、生産基
盤の強化が図られ、規
模拡大や農地の有効利
用が促進され、かん
しょ、里いもの産地化
の拡大、収益力の向上
につながると考えます。

質

かんしょにおける生
産者への重労働の軽減
策や手数料の助成が規
模拡大につながると考
えるが、市の考えは。

答
農業振興課長

改善策として、収穫
時の作業を集団や組織
で取り組めないか検討、
手数料の助成は難しい
状況です。

大原三重ノ原線の歩道設置のめどは

～ 認識はしています ～

質

大原三重ノ原線は主
要道路で交通量も多く
直線道であり、いまだ
歩道が未設置であるが、
市の対応策は。

答
建設課長

県立農業大学校から
中野原踏切までは歩道
が未設置であることは
認識していますが、用
排水路や電柱が両側に
あり、工事費が高額に
なるものと想定され、
早急な対応は困難と考
えています。

